

# 平成29年6月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年5月12日

上場会社名 株式会社ユニバーサル園芸社  
 コード番号 6061 URL <http://www.uni-green.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 森坂 拓実  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 安部 豪  
 四半期報告書提出予定日 平成29年5月15日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
 TEL 072-649-2266

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成29年6月期第3四半期の連結業績(平成28年7月1日～平成29年3月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年6月期第3四半期	5,290	24.1	678	18.2	771	32.5	512	39.0
28年6月期第3四半期	4,262	49.2	573	30.4	581	23.8	368	30.2

(注) 包括利益 29年6月期第3四半期 581百万円 (62.1%) 28年6月期第3四半期 358百万円 (24.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年6月期第3四半期	106.71	
28年6月期第3四半期	76.79	

平成29年1月1日付で、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期(当期)純利益を算定しております。

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年6月期第3四半期	7,691	6,075	79.0
28年6月期	7,365	5,578	75.7

(参考) 自己資本 29年6月期第3四半期 6,075百万円 28年6月期 5,578百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年6月期		0.00		35.00	35.00
29年6月期		0.00			
29年6月期(予想)				17.50	17.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成29年1月1日付で、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。平成28年6月期の年間配当金については、当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

## 3. 平成29年6月期の連結業績予想(平成28年7月1日～平成29年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,207	23.3	868	12.4	905	22.1	597	20.8	124.35

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

平成29年1月1日付で、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。1株当たり予想当期純利益は、当該株式分割を考慮して算定しております。

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年6月期3Q	5,025,000 株	28年6月期	5,025,000 株
期末自己株式数	29年6月期3Q	220,342 株	28年6月期	220,290 株
期中平均株式数(四半期累計)	29年6月期3Q	4,804,681 株	28年6月期3Q	4,804,796 株

平成29年1月1日付で、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、株式数を算定しております。

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。世界経済・競合状況・為替・金利の変動等にかかわるリスクの不安定要因により、実績の業績が記載の予想数値と大幅に異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、四半期決算短信[添付資料]3ページ「(3)連結業績予想などの将来予想情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(会計上の見積りの変更)	8
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の我が国の経済は、新興国経済の景気減速の影響や英国等のEU離脱問題、米国の海外政策や経済政策の影響等により先行き不透明な状況もありますが、経済政策等の効果による雇用や所得環境の改善等により、足元の景気は緩やかな回復基調が続いております。

このような環境のもと、当社グループは主力事業であるグリーン事業において、レンタルグリーンにおける新規顧客の獲得や販売促進のためのマーケティング活動に引き続き注力したほか、グリーン事業の更なる拡大を図るために、生花店及び園芸雑貨店の小売事業の拡大に努めてまいり、その初期投資の回収に向け経費削減等の収益力強化に係る取組を進めてまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は5,290,830千円（前年同四半期比24.1%増）、営業利益は678,291千円（同18.2%増）、経常利益は771,372千円（同32.5%増）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は512,686千円（同39.0%増）となりました。

各セグメントの業績は次のとおりであります。

各セグメントの業績数値につきましては、セグメント間の内部取引高を含めて表示しております。

## 〔グリーン事業〕

グリーン事業につきましては、引き続き企業の景況感の改善を受け、契約数の増加や米国子会社のローリング・グリーンズ・インクのクリスマス関連売上等により増収となり、また経費削減に積極的に取り組んだ結果、増益となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は3,942,890千円（前年同四半期比34.8%増）、営業利益は666,278千円（同2.6%増）となりました。売上高営業利益率は、関東エリアは24.0%（前年同四半期25.9%）、関西エリアは21.7%（同23.6%）、海外エリアは5.8%（同11.0%）となりました。

## 〔卸売事業〕

卸売事業につきましては、販売先の拡大等の営業強化に引き続き取り組んだ結果、既存取引先との取引が減少したこと等により減収となりましたが、積極的に経費削減等に取り組んだこと等により増益となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は633,880千円（前年同四半期比4.2%減）、営業利益は39,756千円（同19.1%増）となりました。

## 〔小売事業〕

小売事業につきましては、新規店舗の認知度を高め増収となりましたが、引き続き設備投資の償却負担等が回収出来なかったこと等によりセグメント損益は損失となっております。尚、ガーデンセンターやグリーンショップ、フラワーショップ等の小売事業は、「母の日」や季節的要因により第4四半期が最も繁忙な時期となります。

以上の結果、当セグメントの売上高は768,808千円（前年同四半期比2.8%増）、営業損失は46,393千円（前年同四半期は123,543千円の営業損失）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (総資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は7,691,390千円となり、前連結会計年度末に比べ326,196千円の増加（4.4%増）となりました。

このうち流動資産は3,311,643千円となり、前連結会計年度末に比べて68,907千円の減少（2.0%減）となりました。これは主に、有価証券が109,901千円減少したこと等によるものであります。

また、固定資産は4,379,747千円となり、前連結会計年度末に比べて395,104千円の増加（9.9%増）となりました。これは主に、有形固定資産が212,993千円、のれんが258,351千円、繰延税金資産が226,175千円増加したものの、投資有価証券が292,397千円減少したこと等によるものであります。

## (負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は1,616,129千円となり、前連結会計年度末に比べて170,896千円の減少（9.6%減）となりました。これは主に、長期借入金が150,194千円減少したこと等によるものであります。

（純資産）

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は6,075,261千円となり、前連結会計年度末に比べて497,093千円の増加（8.9%増）となりました。これは主に、利益剰余金が428,603千円、為替換算調整勘定が68,190千円増加したこと等によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

本資料の発表日現在におきましては、平成28年8月12日に発表した連結業績予想を変更しておりません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,132,920	2,009,165
受取手形及び売掛金	590,531	779,148
有価証券	260,577	150,676
商品及び製品	283,588	295,894
原材料及び貯蔵品	758	852
その他	118,699	88,885
貸倒引当金	△6,524	△12,979
流動資産合計	3,380,550	3,311,643
固定資産		
有形固定資産		
土地	946,274	946,274
その他	1,643,201	1,970,442
減価償却累計額	△1,008,232	△1,122,479
その他（純額）	634,969	847,962
有形固定資産合計	1,581,243	1,794,237
無形固定資産		
のれん	413,883	672,235
その他	24,019	26,028
無形固定資産合計	437,903	698,263
投資その他の資産		
投資有価証券	657,854	365,456
繰延税金資産	400,055	626,230
投資不動産	506,735	506,735
減価償却累計額	△101,713	△107,291
投資不動産（純額）	405,022	399,444
その他	507,282	500,833
貸倒引当金	△4,717	△4,717
投資その他の資産合計	1,965,496	1,887,246
固定資産合計	3,984,643	4,379,747
資産合計	7,365,193	7,691,390

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	194,715	206,052
短期借入金	200,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	199,992	199,992
未払法人税等	126,237	156,624
賞与引当金	—	38,360
その他	280,176	281,228
流動負債合計	1,001,121	982,257
固定負債		
長期借入金	358,343	208,148
退職給付に係る負債	168,485	170,067
長期未払金	210,571	207,264
その他	48,504	48,390
固定負債合計	785,903	633,871
負債合計	1,787,025	1,616,129
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	172,770	172,770
資本剰余金	122,488	122,488
利益剰余金	5,541,276	5,969,880
自己株式	△153,678	△153,759
株主資本合計	5,682,857	6,111,378
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△526	△145
為替換算調整勘定	△104,162	△35,971
その他の包括利益累計額合計	△104,688	△36,117
純資産合計	5,578,168	6,075,261
負債純資産合計	7,365,193	7,691,390

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年7月1日 至平成28年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日 至平成29年3月31日)
売上高	4,262,659	5,290,830
売上原価	1,663,133	1,892,597
売上総利益	2,599,525	3,398,233
販売費及び一般管理費	2,025,638	2,719,942
営業利益	573,887	678,291
営業外収益		
受取利息	9,837	5,753
受取配当金	189	226
投資不動産賃貸料	23,585	25,791
為替差益	—	68,797
その他	10,557	6,729
営業外収益合計	44,169	107,299
営業外費用		
支払利息	70	707
不動産賃貸原価	13,587	11,323
為替差損	19,542	—
その他	2,874	2,186
営業外費用合計	36,075	14,217
経常利益	581,982	771,372
特別損失		
減損損失	2,587	—
特別損失合計	2,587	—
税金等調整前四半期純利益	579,394	771,372
法人税等	210,426	258,686
四半期純利益	368,968	512,686
親会社株主に帰属する四半期純利益	368,968	512,686



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年7月1日 至平成28年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日 至平成29年3月31日)
四半期純利益	368,968	512,686
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△120	381
為替換算調整勘定	△10,288	68,190
その他の包括利益合計	△10,409	68,571
四半期包括利益	358,559	581,257
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	358,559	581,257
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自平成27年7月1日 至平成28年3月31日）

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント						合計	調整額 (注) 1	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注) 2
	グリーン事業				卸売事業	小売事業			
	関東エリア	関西エリア	海外エリア	小計					
売上高									
外部顧客への売上高	1,289,731	1,079,437	555,684	2,924,853	591,037	746,768	4,262,659	—	4,262,659
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	418	—	418	70,622	825	71,866	△71,866	—
計	1,289,731	1,079,855	555,684	2,925,271	661,659	747,593	4,334,525	△71,866	4,262,659
セグメント利益(△は損失)	333,412	254,596	61,087	649,096	33,378	△123,543	558,932	14,955	573,887

(注) 1 セグメント利益(営業利益)の調整額14,955千円は、各セグメントの事務所使用料の内部振替分等でありませ

ず。  
2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2 報告セグメントごとの資産に関する情報

当第3四半期連結会計期間において、前連結会計年度の末日に比べ、報告セグメントの資産の金額は「小売事業」で増加しております。

これは主に、千葉市稲毛区のガーデンセンターの改装費用を支払ったことによる建物、工具器具等が91,873千円増加したこと等によるものであります。

## 3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「小売事業」セグメントにおいて、当第3四半期連結累計期間において、店舗資産の減損損失を2,587千円計上しております。なお、減損損失は特別損失のため、セグメント利益には含まれておりません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

## Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自平成28年7月1日至平成29年3月31日）

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント						合計	調整額 (注) 1	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注) 2
	グリーン事業				卸売事業	小売事業			
	関東エリア	関西エリア	海外エリア	小計					
売上高									
外部顧客への売上高	1,404,560	1,142,262	1,395,862	3,942,686	579,919	768,224	5,290,830	—	5,290,830
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	204	—	204	53,961	583	54,748	△54,748	—
計	1,404,560	1,142,467	1,395,862	3,942,890	633,880	768,808	5,345,579	△54,748	5,290,830
セグメント利益（△は損失）	337,114	248,155	81,007	666,278	39,756	△46,393	659,641	18,649	678,291

(注) 1 セグメント利益（営業利益）の調整額18,649千円は、各セグメントの事務所使用料の内部振替分等でありませ

ず。  
2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2 報告セグメントごとの資産に関する情報

第1四半期連結会計期間において、当社連結子会社であるローリング・グリーンズ・インクが、プレミア・プラントスケープス・エルエルシーから全事業を譲り受けております。

その結果、前連結会計年度の末日に比べ、当第3四半期連結会計期間の報告セグメントの資産の金額は、「グリーン事業（海外エリア）」セグメントにおいて、658,445千円増加しております。

## 3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「グリーン事業（海外エリア）」セグメントにおいて、プレミア・プラントスケープス・エルエルシーからの事業譲受により、のれんが277,380千円増加しております。